



# 卓 話



## 「日本での生活と研究」

米山奨学生 崔 海永さん

### 1. 私の生れた故郷韓国金堤

私の生れたところは韓国の金堤というところである。韓国の中西部に位置し、ソウルから232km離れており、誰が見ても田舎の小さな町である。昔は砂金で有名だったが、今は韓国の代表的な平野の一つである湖南平野の中心地である。毎年10月には農業文化に関する祭りが行われており、全国から注目を集めている。代表的な食べ物はビビンバで、その本場とも言われている。



### 2. 日本での生活

私が日本に初めて来たのは1996年7月で、1週間泊まるうちに夜地震を経験して怖くて震えた覚えがある。留学生として来たのは1998年12月で、次の年から国際学友会日本語学校に通い始めてから本格的な日本の生活が始まった。印象深いことは町の綺麗さ、秩序意識、弱者に対する交通の配慮意識などである。そして日本に来て翌々年からアルバイトをし始めた。焼肉屋や吉野家、コンビニなどでやりながら日本人の勤勉な生活を学んだ。そして大学院で学業と研究をしながら一生懸命研究する研究精神に感動を受けた。実際に日本は今年ノーベル受賞者4人を含め全体的には16人目の受賞者を出している。このような研究精神と勤勉な生活などが今の経済大国日本の根源になったことを疑えない。これはアジア民族として誇りに思われることである。歴史問題で日本を学ぼうとしなかった自分を悔い改め、少しでも日本にいる間学ばなければならない姿勢を持つようになった。自分の国と日本の文化の違いを、ホームステイを通して同じ人間としての温かさを感じたこともある。さらに米山奨学生として選ばれて社会の影響のある素晴らしい方々と交わりをする経験は私の人生にとって有意義なことである。

### 3. 私の研究

私の研究の対象は国立公園を含めた自然公園であ

り、目的はどうすれば人間と自然が共生できるかにある。国立公園の目的の大きなキーワードとして挙げられるのは保護と利用であるが、近年保護より利用に傾いていたため、現状では利用者急増による環境へのインパクトは深刻な状態になっている。特に利用者が集中する5月、7～8月、10月と週末は平均の2～3倍になるため、それによる地形変化、植生変化、動物の生息変化、水質・土壌汚染などが生じ、自然環境が破壊される場合も出てきた。そこで、日本の場合は、オーバーユース（過剰利用）を防ぎながら利用の適正化を図るために法律が設けられるようになった。1957年（昭和32年）には公園計画体系と法律上の利用規制のことでゴミ投棄などが定められた。1974年（昭和49年）には自動車利用適正化のためにマイカー規制が、1957年（昭和32年）には特別保護地域、1990年（平成2年）には特別地域内での車馬等乗り入れ規制が実施され、さらに2002年（平成14年）には利用調整地区制度と立ち入り制限地区制度が設けられた。韓国の場合は、1990年に自然公園での無秩序な行為、ゴミの散乱、水環境汚染などを防止する目的で炊事・野営行為の規制が、1991年には自然環境破壊問題を根本的に予防し、原状回復を図るために自然休息年制が施行された。さらに2008年からは自然休息年制をより強化した特別保護区が施行されるようになった。

実際に利用規制が環境保全手法として効果があると評価されたが（代島、2005）、受益者負担原則による有料化も自然環境保存に有効であると研究されている[朴（1995）、庄子ら（1999）、伊藤（2005）、崔（2008）]。車両規制や利用者の定員制などさまざまな規制案と組み合わせる必要があると主張した研究者もいる。しかしながら、利用規制の位置づけが共生の概念に基づいた位置づけがはっきりしてないし、そして利用規制に対する利用者の意識と評価がされていないことで、利用規制の現状を探りながら位置づけをする必要があると思われる。さらに、利用者側のそれに対する意識と評価をすると共にこれからのその方向性を明らかにすることが本研究の目的である。

研究方法は文献調査、プレ調査とヒアリング調査、そしてアンケート調査を行う。研究対象は韓国

の国立公園3箇所(北韓山、智異山、雪岳山国立公園)と日本の国立公園2箇所(中部山岳国立公園、尾瀬国立公園)にしている。アンケート調査は今年8月から10月にかけて韓国と日本の国立公園で行って、合わせて約480通を回収した。

#### 4. おわりに

日本に来てそろそろ10年になるが、日本はもう私の

第2の故郷にもいえよう。日本での留学の体験は私の人生にとって忘れられない貴重な経験になるにちがいない。日本で学んだことと研究を通して地球村の自然環境と人間が仲良く共生できるシステムづくりに貢献していきたい。最後に励ましになってくださった四谷ロータリー会員の方々に感謝の意を表したい。